



のりたけ

岐阜市立則武小学校
～自律・共生・創造を育む学校～
学校の教育目標
「豊かでたくましい子」
児童数539名

6月28日(月) 1～3年生、4～6年生で1日学ぶ!遊ぶ!探究する! 異年齢学級「なかジャンスクール」開校!

校長 松岡 猛

子ども達の未来社会は、いろいろな年齢、考え方、文化、男女、得意なことや苦手なことが違う、知っている人や知らない人などと、様々な違いの中で生活したり働いたりする中で、幸せを感じていくものとなります。また、SDGs(2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標)でも、「目標とターゲットが全ての国、全ての人々、及び全ての部分で満たされるよう、誰一人取り残さない」という原則の下、国境を越えて対話をしたり活動したりする取り組みがスタートしています。

社会人としての基礎を培う小学校では、「異年齢の中で、多様な違いを認め、主体的・協働的に活動する力」を身に付けておくことが大切ですが、これまで、こういった機会は本校でも十分とは言えませんでした。

そこで、本校では、オランダの「イエナプラン教育」やアメリカの「ドルトンプラン教育」、「モンテッソーリ教育」の要素を取り入れ、異年齢学級を編成し、1日中、計画学習、探究学習、遊び、対話等を通して生活する「なかジャンスクール」をスタートします。(「なかジャン」は「なかよしジャンгл(縦割り遊び)」の略。今回、「縦割り遊び」+「学び」+「生活」と多様な活動を展開するため、「なかジャンスクール」と名付けました。)

○学級編成は?

学級編成は、1～3年生で9クラス、4～6年生で9クラスとしました。小学校期に、年長、年中、年少の3つの立場を2サイクル経験することとなります。

○どんなスケジュール?

<第1回 なかジャンスクール 日程>

- 8:15～ 通常の学級で健康観察
- 8:20～ 8:30 趣旨説明(放送)
- 8:30～ 8:40 各教室へ移動 席の確認や移動後の確認
- 8:40～ 9:00 サークル対話 今日の計画などの交流
- 9:00～ 9:35 計画学習① 学び合い国語
- 9:40～10:15 計画学習② 学び合い算数
- 10:15～10:40 遊び
- 10:45～11:30 探究学習③ 「学校の不思議を探そう」
- 11:35～12:20 探究学習④ 「学校の不思議を探そう」
- 12:20～13:10 給食
- 13:10～13:45 遊び
- 13:50～14:30 サークル対話(活動の振り返り)
- 14:30～14:50 下校完了



未来社会は違いがいっぱい



違いがいっぱいの社会を体験しよう!

6月28日(月)
なかジャンスクール スタート

<学級編成>
1年生から3年生までの学級 4年生から6年生までの学級

異年齢で学び合おう!



年長・年中・年少を6年間で2回体験

なかジャンスクールは
「あなたがみんなの幸せをつくる日」

①自律(じりつ)
・じぶんではんだんしこうどうできる。
・かだいにきづき、じぶんからこうどうする。

②共生(きょうせい)
・ちがいのあるなかまとおたがいをみとめあい、だれひとりとのこさず、ともにいきる。

③創造(そうどう)
・じょうしきにとらわれないはっそうやくふうで、あらたなかんがえをうみだすことができる。

毎月1回開催予定!!

○なかジャンスクールで願うこと

(1) 異年齢学級

同学年だけで生活していると、人は自分を基準として「私はみんなより〇〇ができないからだめだ。」と自己嫌悪に陥ったり「〇〇さんは、こんなこともできないの?」と見下したりすることがあります。人は、違いがあって当たり前なのですが、「同学年だから、誰もが同じようにできる」といった決めつけの概念がこれまでの学校の仕組みの中にあっただように思います。

そこで、異年齢で生活することで、様々な違いに触れ、「どんな人も違っていることが当たり前」ととらえてくれることを願っております。この考え方は、偏見・差別の解消、多文化共生や国際理解、SDGs等にも大きくつながっており、未来社会へ飛び出す子どもたちに必要となる力であると思っています。

今回、1～3年生、4～6年生で学級編成をしました。これは、6年間の中で、年長、年中、年少の立場を2サイクル経験できるようになっています。リーダーとしての年長、熟練者としての年中、経験の浅い年少といったところでしょうか。場合によっては、誤解やすれ違い、トラブルも起きるかもしれませんが、そうした経験から、人は、自分とは何か、他者の価値はどこにあるか、どうすれば人間関係がうまくいくかを学びます。

自分にはできないことをできる人がいたり、自分には関心がないことに関心を持っている人がいれば、自分もそうなりたいと向上心を燃やしたり、今まで気づけなかったことを発見したりする機会にもなります。

(2) 計画学習・学び合い

これまで学校では、先生が指示したことを子どもたちが一生懸命に取り組む教育が展開されてきました。子どもが計画を立てなくても、先生が計画したことを一律に学ぶ、受動的な学習でした。その結果、苦手なところがあっても、一律にドリルを繰り返してやる・・・これでは、力が付きません。また、自分の好きな学びを夢中になってやってみる時間も学校にはありません。「夏休み前になって、学習の計画を立てようと言われても…」子供には、自分の学習状況を振り返り計画する力は十分に育っていないのです。

そこで、自分で学習する内容を決めて取り組む「計画学習」を位置付けました。計画では、どんな学習が自分に必要かを考え、予習、復習、間違えた学習内容、年上の人に教えてもらいたいこと等を計画して取り組むことで、計画力の向上や学びの楽しさを実感してくれることを願っています。

また、異年齢で学ぶため、学び合いが生まれると思います。「誰一人取り残さない」心が生まれ、互いに幸せを感じる学びになってくれることを期待しています。

(3) 探究学習

教科学習は、従来型の授業(教授)として展開されていますが、今回の新学習指導要領ではアクティブ・ラーニング(探究)を取り入れた授業改善が求められており、本校では、総合的な学習や生活科、算数の「学び合い」で探究学習に取り組んでいます。

なかジャンスクールでも、学校を題材とした探究学習「学校の不思議を探そう」を展開したいと思っています。何気なく過ごしている学校にも、「どうして?」「なぜ?」がいっぱいです。学校探検を通して、子どもが感じる素朴な疑問を交流していきたいと思っています。

普段の教科学習では、教科書に問題や学習活動が示してあり、子どもの気付きや素朴な疑問から子供が学習内容を選択していく学びは少ないです。今回の探究学習「学校の不思議を探そう」を通して、何気ない身の回りのものに関心をもち(知的好奇心を高め)、問いを生み出す能力を付けてほしいと思います。

従来型の授業(教授)と探究の対比

従来型の授業(教授)

- ・教師が生徒に持たせた問いを起点に、
- ・教師が生徒に教えたり、調べさせたりして、
- ・教師が生徒に考えさせ、
- ・正解に誘導する。
- ・教師のエネルギーで
- ・教師が与える
- ・教師に依存(教師が必要)
- ・授業時間だけ・教室だけ

探 究

- ・児童の気付きや素朴な疑問を起点に、
- ・児童が「知りたい!」と自ら情報を収集して、
- ・児童が自ら整理・分析し、
- ・意味を感じ取る。
- ・生徒のエネルギー・欲求で
- ・生徒が自らつかみ取り取る。
- ・教師から自立&自走
- ・いつでも&どこでも

(4) サークル対話

「対話」することで、人は、互いを理解していきます。大人も子供もそうですが、「対話」のないところで、人とのつながりは生まれません。

今回、異年齢での対話を通して、「その人そのもの」や「人はそれぞれ違うこと」、「今日の活動を通してつながりができたこと」を感じてほしいと思います。

今回のテーマは「1日の学習予定」と「今日の振り返り」となります。異年齢の中で、「私は〇〇を頑張ります。」「わからないところがあれば聞いてね。」とか、「今日は、〇〇を頑張りました。」「そうそう、こんなこともすごかったよ!」と互いに対話を通して、つながり合うことを期待しています。

◆「なかジャンスクール」は、毎月1回開催してく予定です!